

R4 ライフステージ（武石保育園）_やまほいく事業【まとめ】

1 事業概要

- (1)日時 令和4年10月17日(月) 午前9時30分から11時まで
- (2)場所 武石保育園(保育室)、武石公園北側の畑散策
武石公園は武石保育園の散歩コース
- (3)参加人数 園児22名、引率(園長及び保育士)2名、事務局1名
上田女子短大:先生2名、学生2人
- (4)講師 住みよい武石をつくる会 副会長 児玉 裕二氏
- (5)ねらい 友だちと一緒に武石地域特有の石を見たりお話を聞いたりした後、実際に武石公園北側の畑で石を探す。
- (6)日程 9:30 全体会⇒9:50 園出発⇒10:10 武石公園北側の畑到着
10:50 畑を出発⇒11:10 園着

2 実施内容:【武石保育園(信州型自然保育認定園)での自然保育(野外散策)】

9:30 保育室(はなもも)中で

- ・講師の児玉さんを紹介。
- ・児玉さんから、①武石地域特有の石を探しに行くこと、②子どもたちにもわかりやすいように、ご自身が採取した石を見せながら、石の特徴やどんなところにあるか説明

9:40 園の玄関前での説明(注意事項など)

- ・事故などに気を付けながら、移動することを注意

9:45~11:00 園から歩道を歩いて往復。

① 途中、「武石公園」と「武石山」が両側に見える場所で

- ・バイパス道路を挟んで、右手に「武石公園」、左手に「武石山」があり、畑やバイパスも含め、そのあたり一帯に探す石があることを説明。

- ・かつては、武石公園でも多く見つかったが、今は同公園では、ほとんど見つかることができないとのこと。



② 畑に到着:児玉さんから注意と拾い方の説明

- ・子どもたちのためなら、と個人の畑に入らせて頂けることになった旨を説明し、他の日には勝手に畑に入らないよう注意があった。
- ・目当て石は、地表にあるので、掘らず、じっと足元の地面を見つめていることと見えてくる、と見つけ方のコツを伝授



R4 ライフステージ（武石保育園）_やまほいく事業【まとめ】

③ 地域特有の石を発見！

- ・子どもたちは、次々に石を発見。児玉さんに、「これそう？」「これは？」と持っていく。
- ・石の塊の中のものや、2mmくらいの小さいもの、ほとんど他に石と区別の付きにくいものなどでも、子どもたちは、どんどん見つける。
(大人の方が見つからない)
- ・見つけた石は保育園で用意した袋に入れてしっかりチャック
- ・あっという間に、予定の時間が来てしまった。



④ 最後に、拾った石をみんなで観察

- ・中には10個以上見つけた子どももいた。
- ・児玉さんから、お父さんやお祖父さんの中には、子どものころ、拾った経験がある方もいるので、お家に帰って話しをしてみたいことを伝えた。



3 その他安全管理等

- ・車道横の歩道を歩く際は、2人1組で手をつないで列になり、前後の友達と距離が空くと引率の先生が声を掛けるなど配慮し、安全に気を付けながら行動できた。
- ・道路を渡る時には、集団となって短時間での横断に心掛けていた。



4 総括(全体のまとめ)

- ・普段、地面をじっと見ることは少ないが、特定の石を探しながら、改めて、地面を見ていると、落ちた葉っぱの陰に、ミミズ、セミの抜け殻、どんぐり、小さい甲虫やバッタなどを発見。何気ない地面の上にも生命のさまざまな営みがある。
- ・子どもたちの脳裏にも、石の採取の記憶と共に、この地面の景色も、残っていくのだろうと思われた。

